

都市住民に対するアンケート調査（案）

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
フェイスシート (回答者属性)	F1 性別	あなたの性別をお答えください。	単	男性/女性
	F2 年代	あなたの年齢をお答えください。	単	20～24歳/25～29歳/30～34歳/35～39歳/40～44歳/ 45～49歳/50～54歳/55～59歳/60～64歳
	F3 居住地域	あなたが現在お住いの地域をお答えください。	単	札幌市/仙台市/さいたま市/千葉市/特別区/横浜市/川崎市/ 相模原市/新潟市/静岡市/浜松市/名古屋市/京都市/大阪市/ 堺市/神戸市/岡山市/広島市/北九州市/福岡市/熊本市
	F4 現在の職業	あなたの現在のお仕事はどれにあたりますか。	単	専業主婦(主夫)/自営業・自由業/公務員/教職員/会社経営者/ 会社役員/会社員/フリーター/派遣/パート・アルバイト/ 大学・大学院・専門学校生/浪人・予備校生/その他
	F5 未既婚	あなたは現在ご結婚されていますか。	単	未婚/既婚/離・死別
	F6 子の有無	あなたは現在同居しているお子さんがいらっしゃいますか。	複	小学生未満/小学校低学年/小学校高学年/中学生/高校生/ /その他(学生)/その他(就労)/その他(未就労)/子どもはい るが同居していない/子どもはいない
	F7 世帯の収入	あなたの世帯の現在の収入(年収)はどれくらいですか。	単	1. 100万円未満 2. 100～200万円未満 3. 200～400万円未満 4. 400～600万円未満 5. 600～800万円未満 6. 800～1000万円未満 7. 1000～1500万円未満 8. 1500万円以上 9. わからない・答えたくない
農山漁村に対する意識や関わり	Q1 農山漁村との関わり	あなたは、農山漁村地域のご出身ですか。 ※農山漁村地域とは、 周辺に農地や森林等 が広がり、農林漁業が 盛んな地域です。	単	1. 農山漁村地域の出身(農山漁村地域で生まれ育った) 2. 農山漁村地域で生まれてはいないが、幼少期はおおむね農山漁村地域で育った 3. 生まれ育ちは農山漁村地域ではないが、一定期間農山漁村地域で暮らした経験がある 4. 農山漁村地域の出身ではなく、暮らした経験もない
	Q2 農山漁村への訪問頻度	あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域をどのくらいの頻度で訪れていますか。	単	1. ほぼ毎週 2. ほぼ毎月(年に10回以上) 3. 年に数回程度(2～3か月に1回程度) 4. 年に1～2回程度 5. この5年間で数回程度(1～2年に1回程度) 6. それ以下の頻度 7. この5年間では訪れていない

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
農山漁村に対する意識や関わり	SQ2-1 農山漁村への訪問理由	〔Q2で1～6のいずれかに回答をした場合〕 あなたが農山漁村地域を訪れる理由や目的は何ですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親族の家の手伝いや世話、帰省のため 2. 旅行・観光・レジャー・レクリエーションのため 3. 農作業や祭りなどの地域活動に参加するため 4. 都市地域のほかに農山漁村地域にも住居があるため 5. 仕事(出張・営業等)のため 6. 地域貢献活動やボランティア活動に参加するため 7. 上記以外の目的で
	Q3 訪問以外の農山漁村との関わり	あなたは、直近の5年間で、農山漁村地域に対して、直接訪れる以外に何か関わりを持っていますか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特定の農山漁村地域の人や団体等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物・特産品などを直接購入している 2. 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入している 3. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしている 4. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしている 5. 同郷会に参加している 6. 特定の農山漁村地域の団体等の会員に登録している 7. 上記以外の関わりを持っている 8. 特に農山漁村地域との関わりはない
	Q4 子育てに適した地域	あなたは、子育てに適しているのは都市地域だと思いますか、それとも農山漁村地域だと思いますか。	単	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市地域 2. どちらかという都市地域 3. どちらかという農山漁村地域 4. 農山漁村地域 5. どちらともいえない
農山漁村への移住意向	Q5 現在の生活への満足感	あなたは、現在お住いの地域の生活環境に満足していますか。	単	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大変満足している 2. 概ね満足している 3. やや不満である 4. 大変不満である
	Q6 住み替えに対する意識	あなたは、現在お住まいの地域に住み続けたいですか、それとも別の地域へ移住したいですか。	単	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の地域に住み続けたい 2. どちらかといえば現在の地域に住み続けたい 3. どちらかといえば別の地域へ移住をしたい 4. 別の地域へ移住をしたい
	SQ6-1	〔Q6で3又は4と回答した場合〕 現在の地域との比較で考えた場合、どのような地域に移住をしたいですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現在の地域より若い世代や子どもが多い地域 2. 現在の地域より都市機能が充実した地域 3. 歩いて暮らせるような日常生活が便利な地域 4. 現在の地域より生活は不便でも自然が豊かな地域 5. 現在の地域より生活は不便でも環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)が送れる地域 6. 離島や山間部など、現在の地域ではできない暮らしが送れる地域

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
農山漁村への移住意向	Q7 農山漁村への移住意向	あなたは、農山漁村地域に移住（定住）してみたいと思いますか。	単	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農山漁村地域に移住する予定がある 2. いずれは農山漁村地域に移住したいと思う（ゆくゆくは農山漁村地域に定住したいと思う） 3. 条件次第では、農山漁村地域に移住してみてもよいと思う（条件が合えば農山漁村地域に定住してもよいと思う） 4. あまり積極的に農山漁村地域に移住してみたいとは思わない（農山漁村地域に定住したいとはあまり思わない） 5. 農山漁村地域に移住したいとは思わない（農山漁村地域に定住したいという願望はない）
	Q8 希望する移住先との関係性	〔Q7で1～3のいずれかに回答した場合〕 あなたが移住したい（移住を予定している）農山漁村地域はどのような地域ですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自分の出身地 2. 配偶者の出身地 3. 自分や配偶者の出身地の近く 4. 自分の親や配偶者の親などの親族の出身地 5. 自分の親や配偶者の親が住んでいる地域 6. 子どもなど面倒を見てくれる親族が住んでいる地域 7. 友人や知り合いが住んでいる地域 8. 出身地ではないが、幼少期によく訪れたことがある、なじみのある地域 9. 出身地ではないが、学生時代や転勤などで一定期間住んだことのある、なじみのある地域 10. 出身地ではないが、過去に観光などでよく訪れたり滞在したことがある地域 11. 上記以外で、テレビやインターネット等の情報を通じて魅力を感じている地域 12. その他 13. 具体的なイメージはない・決めていない
	Q9 農山漁村に移住したい時期	〔Q7で1～3のいずれかに回答した場合〕 あなたは、いつ頃（どのようなタイミングで）農山漁村地域への移住を実現したいとお考えですか。	単	<ol style="list-style-type: none"> 1. 条件が整えばすぐにも 2. 自分が今通っている大学等を卒業したら 3. 自分又は配偶者が（定年・早期）退職したら 4. 子どもが小・中学校へ進学するタイミングに合わせて（子どもを連れて移住） 5. 子どもが高校や大学等へ進学するタイミングに合わせて（子どもと離れて移住） 6. 子育てが終わったら（子どもが自立したら） 7. 自分や配偶者の親の介護が必要となったら 8. 自分や配偶者の親の介護などが不要になったら 9. 配偶者との離・死別など家族構成に変化があったら 10. その他 11. 具体的な時期は考えていない

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
農山漁村への移住意向	Q10 農山漁村に移住したい理由	〔Q7で1～3のいずれかに回答した場合〕 あなたが農山漁村地域に移住したいと思う理由は何ですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. ふるさと(出身地)で暮らしたいから 2. 家族(配偶者、子ども、親)と一緒に暮らしたいから(一緒に暮らす必要があるから) 3. 家族や親せきが近くにいるところで暮らしたいから 4. ふるさとはないがなじみのある地域で暮らしたいから 5. 気候や自然環境に恵まれたところで暮らしたいから 6. 環境にやさしい暮らし(ロハス)やゆっくりとした暮らし(スローライフ)、自給自足の生活を送りたいから 7. 安くて新鮮で安心・安全な食料が手に入るから 8. 農作業など都市地域ではできない仕事がしたいから 9. 都市地域より安くて広い土地や住宅が手に入るから 10. 豊かな自然に恵まれた良好な環境の中で子どもを育てたいから 11. 働き方や暮らし方を変えたいから 12. 新しい土地で新しい人間関係を築きたいから 13. 都会の喧騒を離れて静かなところで暮らしたいから 14. その他
	Q11 農山漁村への移住に必要な条件	〔Q7で1～3のいずれかと回答した場合〕 あなたが農山漁村地域に移住する上で必要な条件は何ですか。 Q11A 農山漁村地域に移住する上で必要な条件をすべて挙げてください。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活が維持できる仕事(収入)があること 2. 買い物や娯楽などの日常生活に必要なサービスや生活関連施設があること 3. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っていること 4. 居住に必要な家屋や土地を安く入手できること 5. 居住に必要な空き家の斡旋・仲介が受けられること 6. 子育てに必要な保育・教育施設や環境が整っていること 7. バスや鉄道など生活していく上で必要な公共交通が確保されていること 8. 文化イベントや趣味の場などが充実していること 9. 移住に必要な費用の補助や奨励金などの自治体の支援があること 10. 居住地の検討に必要な情報が入手できること 11. 移住に先立ち、色々なことを相談できるサポート体制が整っていること 12. 移住後の暮らしをサポートしてくれる相談体制が整っていること 13. 移住先の地域に同世代の住民がいること 14. その他 15. 特になし
		Q11B その中で、最も重視する条件をひとつ選んでください。	単	(上記の選択肢1～15から選択)

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
農山漁村への移住意向	Q12 農山漁村へ移住後の仕事	[Q7で1～3のいずれかと回答した場合] あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような仕事に就きたいですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農林水産業に従事したい(生業として) 2. 農家レストランや民宿などの宿泊施設を開きたい 3. 役場や地元の会社でフルタイムの仕事に就きたい 4. 地元の会社でパートタイムやアルバイトとして働きたい 5. 持っている資格やスキルが活かせる仕事に就きたい 6. 持っている資格やスキルを活かして新たに起業したい 7. 今の仕事(自営業・自由業)を農山漁村地域で続けたい 8. 今の勤め先での仕事を農山漁村地域で続けたい 9. 会社等には就職せず、家業や家族の仕事を手伝いたい 10. 特に仕事はしない(農山漁村地域で働くつもりはない)
	Q13 農山漁村への移住後のライフスタイル	[Q7で1～3のいずれかと回答した場合] あなたは、農山漁村地域に移住したら、どのような暮らしをしたいですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 趣味やレジャーを楽しみたい 2. 趣味としての農作業等を楽しみたい 3. 自分のスキルを活かして地域貢献活動をしたい 4. 地域の人たちと触れ合い、地域活動に参画したい 5. 地域の伝統工芸や地域文化を継承する活動に関わりたい 6. 自然環境を守る活動をしたい 7. 同じように都市地域から移住してきた人や都市部から訪れる人と一緒に新しい活動を展開したい 8. 家族や親族、友人との時間を大切にしたい 9. 自給自足の生活を送りたい 10. 静かな環境の中で病気の療養や健康の増進を図りたい 11. その他
	Q14A 農山漁村への移住に伴う不安や懸念(移住意向がある場合)	[Q7で1～3のいずれかに回答した場合] あなたは、農山漁村地域への移住に対し、何か不安や懸念をお持ちですか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する条件・内容の仕事(働き口)があるか 2. 生活を維持していけるだけの収入が得られるか 3. 収入に対して生活コスト(物価・光熱費・住居費・交通費など)がどれくらいかかるか 4. 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設があるか 5. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が整っているか 6. 定住するために必要な住居が確保できるか 7. 子育て環境(保育・教育施設)が十分か 8. 地域内で移動するための交通手段が確保できるか 9. 都市部へのアクセス手段が確保できるか 10. 移住先での人間関係がうまく構築できるか(地域にうまくとけこめるか) 11. 災害対策や緊急時の危機管理体制は十分か 12. 野生の動物や虫・昆虫などが出没しないか 13. 将来にわたり生活環境が維持されるか(住み続けられるか) 14. その他 15. 特に不安なことや懸念していることはない

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）
農山漁村への移住意向	Q14B 農山漁村への移住に対する不安や懸念（移住意向がない場合）	〔Q7 で 4 又は 5 と回答した場合〕 あなたが農山漁村地域に移住（定住）してみたいと思わないのはなぜですか。	複 <ol style="list-style-type: none"> 1. 希望する条件・内容の仕事（働き口）がなさそうだから 2. 生活を維持していけるだけの収入が得られそうにないから 3. 収入に対して生活コスト（物価・光熱費・住居費・交通費など）が高くつきそうだから 4. 買い物、娯楽など日常生活に必要なサービスや生活関連施設が十分ではなさそうだから 5. 病院や診療所、介護施設など医療・福祉の環境が十分ではなさそうだから 6. 希望する条件の住居が確保できるかわからないから 7. 子育て環境（保育・教育施設）が十分ではなさそうだから 8. 地域内での移動の交通手段が十分ではなさそうだから 9. 都市部へのアクセス手段が十分ではなさそうだから 10. 移住先での人間関係がうまく構築できるか（地域にとけこめるか）不安だから 11. 災害対策や緊急時の危機管理体制に不安があるから 12. 野生の動物や虫・昆虫などが出没しそうだから 13. 将来にわたり生活環境が維持されるか（住み続けられるか）不安だから 14. その他 15. 今の都市地域での生活に不満がないから 16. 都市地域での暮らし以上の魅力を感じないから
「田園回帰」の促進に向けた施策等	Q15 農山漁村への移住を後押しする（移住への不安を解消する）ために必要な政策	あなたは、農山漁村地域の自治体がどのような施策を行っていけば、Q14 でご回答いただいたような農山漁村地域への移住に対する不安や懸念が解消され、移住してみたいと思うようになりますか。	複 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「お試し居住」などの移住体験 2. 移住や移住後の暮らしに関する総合的な相談窓口 3. 空き家情報の提供や斡旋、紹介 4. 公的賃貸住宅（移住促進住宅など）の優先的な斡旋 5. 仕事（働き口）の紹介 6. 農林漁業体験・研修 7. 農林水産業への就業に向けた支援（土地の提供、受入農家の紹介など） 8. 起業支援（起業・創業に係る費用の助成、店舗物件等の斡旋、改装費補助など） 9. 移住に係る費用の補助や移住後の暮らしの支援（定住奨励金、子どもの医療費助成など） 10. 出産・子育てに係る支援（出産費用や健診費用の助成、保育料無料、児童手当など） 11. 教育に係る支援（高校等への通学費補助、下宿費用の助成、奨学資金貸与など） 12. 移住先の地域に関する情報の提供 13. 地域住民との交流会の開催など、地域とのつながり・つながりづくりに関するサポート 14. その他 15. 特になし

	設問	設問文	選択肢（単＝単一選択、複＝複数選択）	
「田園回帰」の促進に向けた施策等	Q16	あなたは、移り住む以外の方法で、今後農山漁村地域とどのような関わりを持ちたいとお考えになりますか。	複	<ol style="list-style-type: none"> 1. 都市地域での住まいのほかに、農山漁村地域にも住宅をもって行き来する暮らし(二地域居住)がしたい 2. 都市地域で生活しつつ、地域活動(農作業、祭りなど)への参加や地元の人との交流のため、農山漁村地域を訪れたり滞在したりする暮らしがしたい 3. 都市地域で生活しつつ、観光などのために農山漁村地域を時々訪れたり、滞在したりする暮らしがしたい 4. 特定の農山漁村地域の人や団体・グループ等と交流を持ち、定期的に情報を交換したり、農産物等を直接購入したい 5. 都市地域で開催される農山漁村地域関連のイベントに参加したり、アンテナショップ等を訪れて、商品や特産品を購入したい 6. 出身地や関わりのある農山漁村地域に「ふるさと納税」をしたい 7. 農山漁村地域で地域おこし活動を行うNPOなどに寄付をしたい 8. 同郷会などに参加したい 9. 地域の情報を得たり地域での活動を間接的にサポートしたい(特定の農山漁村地域の団体等の会員になるなど) 10. その他の関わりを持ちたい 11. 特に農山漁村地域との関わりを持ちたいとは思わない

<参考> 対象自治体と地域ブロック別・年代別のサンプル割付数

対象自治体	地域ブロック	北海道・東北・北陸	関東	東海	関西	中国・九州	合計	年齢区分別構成比
	構成都市	札幌市 仙台市 新潟市	さいたま市 千葉市 特別区 横浜市 川崎市 相模原市	静岡市 浜松市 名古屋市	京都市 大阪市 堺市 神戸市	岡山市 広島市 北九州市 福岡市 熊本市		
H27 国調人口		2,215,365	10,538,344	2,144,748	3,688,002	2,905,907	21,492,366	100%
	20～29歳	416,416	2,030,500	394,433	727,772	559,732	4,128,853	19.2%
	30～39歳	495,167	2,570,674	487,605	836,362	669,890	5,059,698	23.5%
	40～49歳	561,129	2,890,578	571,517	975,438	746,268	5,744,930	26.7%
	50～59歳	477,598	2,100,515	460,886	757,579	606,613	4,403,191	20.5%
	60～64歳	265,055	946,077	230,307	390,851	323,404	2,155,694	10.0%
割付サンプル数		309	1,471	299	516	405	3,000	100%
	20～29歳	58	283	55	102	78	576	19.2%
	30～39歳	69	359	68	117	93	706	23.5%
	40～49歳	78	404	80	136	104	802	26.7%
	50～59歳	67	293	64	106	85	615	20.5%
	60～64歳	37	132	32	55	45	301	10.0%
ブロック別構成比		10.3%	49.0%	10.0%	17.2%	13.5%	100%	

※各ブロック・年齢区分の割付サンプル数は男女同数とする。